

令和7年9月

TEL:81-2776

中井支店宮農だより



中井支店では仮決算棚卸の為、営業時間を

9月30(火)8:40～12:00まで 10月1日(水)13:00～16:00といたします。

ご利用の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【水 稲】

水稻の生育状況

令和7年産水稻の生育状況は、草丈は平年よりやや長く、莖数は多く、葉色はやや薄い傾向です。出穂期はやや早い状況です。今後の気温は高い予報となっていますので、水管理などで稲への負担を軽減しましょう。

水管理

出穂後35日(収穫7日前頃)を目安に落水を行いましょう。(土壌条件にもよります。)

落水が早いと登熟が悪くなります。登熟不良や胴割れを防ぐために、完全落水は収穫作業に差し支えない範囲で出来るだけ遅らせましょう。

高温時対策

気温が高くなると品質の低下が起こりやすくなります。その対策として出穂期、登熟期の間断かん水、かけ流し、夜間入水を行いましょう。(特に、夜温が高い日はできる限り夜間入水して、水温を下げ、稲の呼吸による消耗を防ぎましょう)

収 穫

収穫適期は、穂に青籾がはるみ・キヌヒカリ・てんこもりでは15%残っている時期です。

平年の収穫目安 5月25日田植えの場合

はるみ・キヌヒカリ 9月14日頃 てんこもり 9月20日頃

乾 燥

収穫した籾は、ムレを防ぐため4時間以内に乾燥機に入れましょう。

コンバインで収穫した籾を急激に乾燥させると胴割れし易くなるので、風乾燥を4～5時間行い水分が20%前後になってから火力乾燥(40℃を越えない)し、玄米水分含量を14.5%～15%に調整しましょう。(循環式乾燥機をお持ちの方は、取扱説明書に従い作業を行いましょう。)

機械の取扱い

農作業の安全と品質の確保のため、機械は使用前に取扱説明書を読み、機械の性能にあわせて無理せず作業しましょう。

——【キウイフルーツ】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除 9月上旬

○果実軟腐病

バルコート水和剤 1000倍 100g/水100ℓ 収穫前日 5回

＊カイガラムシ多発園では9月上旬～中旬にトランスフォームフロアブル 2000倍 50ml/水100ℓ 収穫3日前 3回

＊カメムシ発生時はスタークル顆粒水溶剤 2000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 3回

施 肥

9月中旬と10月中旬に分肥 キウイ配合 100kg/10a

後期肥大は、年間肥大の20%程度あります。肥料の分肥は9月中旬に60%、樹勢回復には10月中旬に40%の2回に分けて行う事で効果が上がります。

——【いちじく】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

追 肥 8月～11月

樹勢回復と貯蔵養分増加のために、NK化成2号を20kg/10a施用する。

病害虫防除 9月(秋雨前)

○疫病 雨が続いた場合は疫病の注意が必要です。

ランマンフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 3回

【う め】

夏季剪定 9月中旬頃までに、縮間伐・立ち枝の間引きを実施しましょう。

樹の内部に光を入れることで、花芽分化の促進をします。また、夏季剪定の際に残す枝の葉を落とすと翌年の花芽分化に悪影響します。注意しましょう。

※灰星病発生園での剪定について

・結果枝(実のなる枝)に症状がある場合は、切り落とします。

・被害が多い場合は、側枝単位で切り落とします。

・樹全体に症状が広がっている場合は、健全な枝(緑枝など)を残し切り落とします。

剪定枝は発生源になるので、必ず園外廃棄しましょう。

○モモヒメヨコバイの発生が続く時は、防除しましょう。

テッパン液剤2000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 2回を散布する(散布回数を注意する)

——【温州みかん】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

この時期の病害虫防除は、収穫時の外観・品質へ大きく影響します。必ず実施しましょう。

病害虫防除 8月下旬 ～ 9月上旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回 ＊極早生に散布する際は、収穫日に気をつけてください。

○ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回
又は

ダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回

○チャカイアザミヤ スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

ヤノネカイガラムシ

9月中旬～10月下旬

早生品種を中心に落果等のカメムシの被害が発生します。早生品種を栽培している方は、必ず、園地を見回り、防除しましょう。

○カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50ml/100ℓ 収穫前日 3回

又はロディー乳剤(劇) 2,000倍 50ml/100ℓ 収穫7日前 4回

スタークル顆粒水溶剤は3回使用できますが、大津四号、青島温州にも使用する場面も想定して散布を工夫してください。また、アルバリン顆粒水溶剤はスタークルと同じ剤のため、スタークルを3回散布した場合は使用できません。

【中晩柑】

病害虫防除 8月下旬～9月上旬 基本防除はみかんの項参照

＊ 中晩柑の防除における農薬の使用日数には十分に注意しましょう。

例) ジマンダイセン水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

ペンコゼブ水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

